

2 2 東京都公立高等学校 PTA 連合会

行動計画記載の内容等
<p>1 男女双方が P T A 活動に参加しやすい環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・体制、活動内容、活動時間などを各学校ごとに見直し、男性も女性も関わりやすい活動の仕方を検討する。特に、男性の参加が少ないという現実を直視し、その原因を追及する。
<p>2 男女が共同で、子どもに関わるということを学習する場の提供を考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修会・講習会・講演会のテーマとして、各学校に検討を促す。・男女が協力して、思春期の子どもに関わる必要なスキルを獲得するため研修会・講習会を開催する。
<p>3 就職を目指している子どもとその保護者に向けて、働く場における男女平等参画を促進している企業の情報を収集及び提供する。</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 17 年度取組実績」

17 年度の具体的取組内容	実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の多くが働いている状態からも、土曜日、平日の夜などの活動を考慮する必要がある。特に本年から土曜日の授業が復活したことから、各学校情報交換をしながら協力して進めていく。 ・ 男女を問わず参加しやすい活動内容を企画していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17 年度は、会長、副会長合わせて 6 人の内、男性 1 人。 活動しやすい時間帯を選んで会議を設け、男性の P T A 活動に参加しやすい環境を整備した。 ・ 単位 P T A でも男性参加がしやすいように、行事を増やしている。 (おやじの会・スポーツ交流会) ・ 単位 P T A では土曜の昼間の活動が多いので、都高 P 連としては仕事をもつ女性・男性を問わず金曜日の夜の会議を設け、資料等は早めにメールまたは、ペーパーで送るなど短時間で会議が終了する努力をし、協力を得た。
<p>PTA が主催する企画だけでなく、外部団体などが講演会などを積極的に情報発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに関わるアンケート等で共通の問題意識を提示した。 ・ 講演内容では男女を問わず「人として」をテーマにした。 ・ 17 年度は各学区で取り組んだ研修会・講演会等を都高 P 連開催の全都会長会で発表する場を設け情報交換等ができた。
<p>ハローワーク、スクールデイ担当を設け協力して情報の発信をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域でのアンケート結果を配布周知に務めた。 ・ ハローワークの情報を早く入手し情報を生徒・保護者にも提供したい。
<p>P T A 活動の根本的な見直しを図り、活動のあり方を模索し、I T の積極的な活用（メールリストなど）などの研究に着手。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの意見交換で、会議時間の短縮化を実施した。 ・ H P の充実に着手した。